

# 1年生サクソ奏者の挑戦

## 日大新聞

11月29日  
土曜日

記念号外



全国大会出場九回の強豪、札幌日大高校吹奏楽部。2日後の保護者向け発表会に向け、細部を磨く練習が続いている。取材では、サクソを担当する1年生の根



「宝島」を練習する吹奏楽部

津音花さんに話を聞いた。中学でサクソスを始め、体験入部で感じた温かな雰囲気、に惹かれて入部。今回、吹奏楽で広く知られる名曲「宝島」のソロという難所を任されている。根津さんは「楽しく、明るい曲だ。聞く人にも伝わると良い」と意気込む。練習では演奏を止めて互いに意見を出し合っていた。ステージ上では先輩後輩の垣根なく、平等に意見を交わす姿が印象的であり、それが強豪たる理由でもあるようだ。「苦手な部分の練習が一番辛いが、逃げずに向き合う」と話す根津さん。ソロは「少

しのミスも許されない」と気を引き締める。3年生が卒業し、代替わりしたばかりの吹奏楽部。部長の小林泰樹さんは「思いを持って行動できる部に」、副部長の細川陽向さんは「熱意が本物の音楽を生む」と話す。仲間と鍛えた演奏が、会場を包むだろう。(田中利奈)



副部長 = 細川陽向さん、部長 = 小林泰樹さん  
共に2年